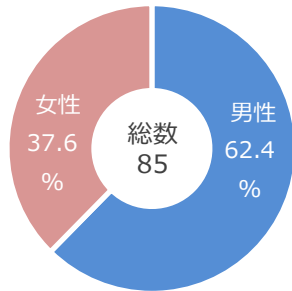


8. 部位別《痔》

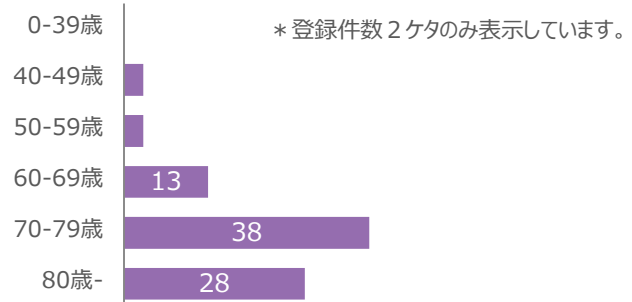
2020年症例

* 分類方法：癌腫のみ（国立がん研究センター 院内がん登録全国集計 病期分類対象コードに準じる）
* 症例区分：「自施設初回治療開始」

8-1. 男女比



8-2. 年齢別登録件数



8-3. 岡山県施設別登録件数割合

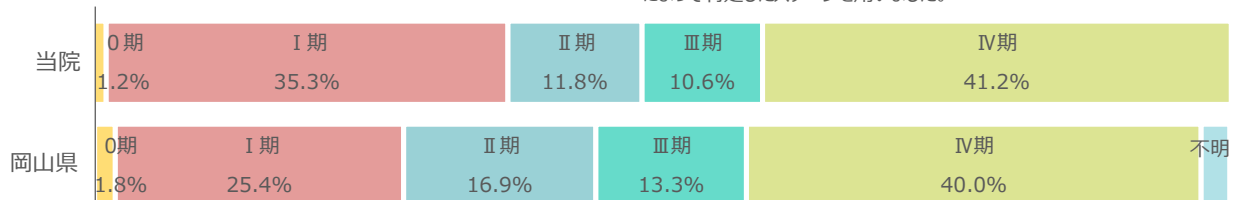
* 症例区分：「その他」のみを除いています。



* 岡山県：がん診療連携拠点病院9施設で集計しています。（国立がん研究センター 院内がん登録全国集計結果閲覧システムより）

8-4. 総合ステージ割合(UICC第8版)

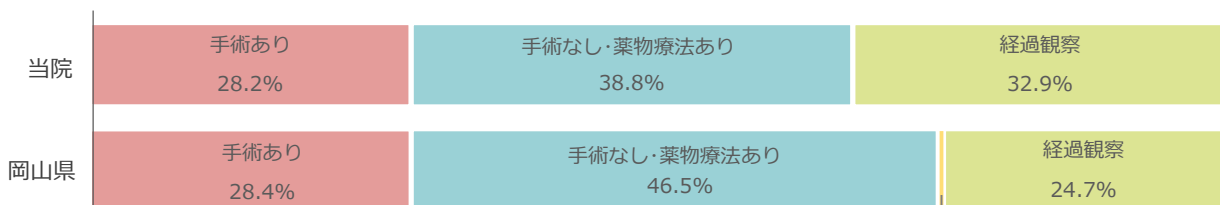
* 手術で切除したがんの組織診断から判定した術後病理学的ステージを最優先したステージ。手術がなされない等の理由で判定できない症例は、画像診断等によって判定したステージを用いました。



* 岡山県：がん診療連携拠点病院9施設で集計しています。（国立がん研究センター 院内がん登録全国集計結果閲覧システムより）

8-5. 治療別割合

* 岡山済生会外来センター病院で行った薬物療法は含みません。



* 岡山県：がん診療連携拠点病院9施設で集計しています。（国立がん研究センター 院内がん登録全国集計結果閲覧システムより）
放射線治療など 0.5%

8-6. 手術内訳



定期的に血液検査で腫瘍マーカー(腫瘍ができると出現する特殊物質)を調べ、早期発見に努めています。早期発見のうち8割が70歳以上と高齢化が続いており、体への負担等を総合的に判断し、手術や薬物療法を組み合わせた治療法を検討します。術前に薬物療法を行う方が長期的な生存率が向上するため、当院でも積極的に取り組んでいます。侵襲の低い治療が求められ、ロボット手術も導入しました。